

# パネルディスカッション+交流会 参加者（4名）

## 1. 株式会社フロムH（広告） 代表取締役

### 【学生時代の所属先】

人間総合科学研究科 スポーツ健康システム・マネジメント専攻修士課程（2021 修了）

### 【卒業後の所属先】

大学卒業→電源開発（エネルギー業界）→83年～第一企画（現ADK＝広告業界）

→95年～旭通信社（現ADK＝広告業界）→97年～博報堂（広告業界）→24年～現職

### 【仕事内容】

広告ビジネスを中心としたコンサルティング会社、特にファッション、スポーツ、エンタメ、教育を中心に取り組んでいます。大学での就活サポート、キャリア関連の授業の担当が現在のメイン業務です。

### 【自己紹介文】

- ・小中高はサッカー部、大学ではESSに所属し多くのディベート大会で活躍。
- ・転職3回経験し、結果、博報堂で約27年勤務。
- ・広告代理店には、オリンピックやサッカーワールドカップのようなスポーツビジネスに関わることを目標に入社。
- ・業務を通して、メディア関係、クリエイティブ関係など多くの方々とネットワークを構築ができ、いまに繋がる人的ネットワークを構築。
- ・数年間映画事業担当になり多くの作品の製作委員会のエンドクレジットに自分の名前が載っているのが自慢（笑）
- ・TOKYO2020 担当部門に数年間異動となり、社会人になった時の目標を達成できた幸せなビジネスマンだが、更なる高みを目指して、いまは起業しつつ明治学院大学で学生へ就活支援、キャリア関連の講義を担当。
- ・大学院での修士論文テーマは、スポーツイベントにおけるプロデューサーの人材のキャリア形成について。修了後も研究活動を継続し、日本スポーツ産業学会に論文投稿、査読を経て学会誌に論文掲載。

## 2. KDDI 株式会社（通信） 人事本部 新卒採用担当

### 【学生時代の所属先】

体育専門学群（2020 卒）

人間総合科学研究科 体育学学位プログラム（2022 修了）

### 【卒業後の所属先】

大学卒業→現職

### 【仕事内容】

全 13 コースの職種別採用を実施している採用担当者

### 【自己紹介文】

- 体育・スポーツ分野を学びたい、部活をしたいと思い、筑波大学体育専門学群を選択。
- 大学では、部活（体育会水泳部競泳）に没頭する。⇒一般受験からの進学、インカレや JAPANOPEN 出場
- 大学 4 年次に教育実習を行い保健体育の教員免許取得（後に専修免許も取得）
- 大学卒業後は大学院に進学し研究活動に取り組む。（コロナ禍に直撃）⇒大学 3 年次から所属していた運動生理学 西保研究室で研究
- 「より多くの人に貢献できる仕事がしたい！」という想いを叶えるために通信業界を志望入社
- 2 年半新卒採用担当として市場調査、学生とのコミュニケーションを取ってきました。書類選考や面接官としての対応もしているため、人事担当者・面接官としての立場の話もできると思います。
- [https://iroots.jp/log/rookie\\_kddi/](https://iroots.jp/log/rookie_kddi/)

## 3. プリオホールディングス株式会社（プライダル） 執行役員 営業部長

### 【学生時代の所属先】

人間学群 教育学類（2012 卒）

### 【卒業後の所属先】

大学卒業→現職

### 【仕事内容】

現在：長野県と群馬県で結婚式をつくる仕事、営業、マネージメント、採用、VIP 対応で都内に行くなど県をまたいで働いています

これまでの仕事：東京本社で広報・人財採用を担当し、長野県へ異動、ウェディングプランナーになりました。群馬県へ異動し総支配人となり、全店のサービスチームのアカデミー、営業、マネージメント、ウェディングプランナーをしていました。

### 【自己紹介文】

- 文部科学省に入りたいと人間学群教育学類に入学
- 教育学類座長として全代会にて活動
- <https://www.smi-tokyobay.com/blog/2010/06/100623.html>
- T-ACT プロジェクトやペットボトルキャップをワクチンにする運動を実施
- 新歓で感動してストリートダンスサークル REALJAM に入り副部長になる

- 東大の学園祭で東大チームと一緒に踊る→東京都内のダンスコンテストで優勝
- 宿舍祭実行委員会宣伝部局部長、太鼓隊 ・UT ショップへ掛け合い大学グッズの制作
- アルバイト先でファンのお客様ができ、人と接する仕事に興味を持つ
- 自分も成長できる質の高い仕事×創業者の魅力に惹かれプリオホールディングス(株)へ入社
- 東京本社で広報宣伝・人財を担当 ・ヴィラデマリアージュ（結婚式場）で総支配人になる
- 仏出張へ2週間行きミシュランレストラン研修
- ソムリエ、日本酒利酒師の資格取得し専門学校サービス授業講師へ
- 副総理大臣の麻生太郎様ご家族の御会食を担当
- 執行役員として長野県群馬県の営業部長、採用担当

#### 4. 地方公共団体金融機構（金融） 経営企画部秘書役室

##### 【学生時代の所属先】

第二学群 日本語・日本文化学類（2008卒）

##### 【卒業後の所属先】

大学卒業→公営企業金融公庫→（政策金融改革により「公営企業金融公庫」廃止）→地方公営企業等金融機構→（改組）→現職

##### 【仕事内容】

現在：新卒採用担当

これまで：給与計算・福利厚生関係業務

##### 【自己紹介文】

- 高校時代は歴史博物館の学芸員になりたいという漠然とした夢を抱き、第二学群日本語・日本文化学類に進学。
- 日本史が好きだったので、鎌倉市立鎌倉国宝館で学芸員免許を取得。また、筑波大学附属駒場中・高等学校で、高校の教員免許（地理歴史）を取得。
- 学生時代は国内だけでなく海外にも興味があったので、3年生の春に大学を1年間休学し、イギリスの身体障害者施設でボランティアとして活動。
- 帰国後は、インドのマザーテレサの施設や、奈良県明日香村でもボランティアとして活動。
- 様々な活動をしていく中で、「就職後も社会貢献をしていきたい」と思うようになり、公営企業金融公庫（政策金融改革で「地方公営企業等金融機構」へ、翌年「地方公共団体金融機構」に改組）に就職。地方公共団体金融機構は、法律に基づいて設立された公的な機関であり、金融を通じて地方に貢献する業務を行っている。
- 採用後は主に総務関係の業務を担当し、現在は新卒採用活動を担当。

## 交流会のみの参加者（6名）

### 5. 株式会社コーセー（化粧品） メイク製品研究室

#### 【学生時代の所属先】

生命地球科学研究群 生物学学位プログラム（2022 修了）

#### 【卒業後の所属先】

大学卒業→現職

#### 【仕事内容】

- ・メイク製品の開発（ファンデーションや下地、コンシーラー、メイクキープミストなどのベースメイク製品を開発する仕事です。目標品質（テクスチャー、色、仕上がり、毛穴フォーカスやSPF、化粧品もち機能など）に向けて、水・油・粉の化粧品原料を組み合わせ、製品をつくっています。）
- ・メイク製品開発のための技術研究（特許状況や各国規制動向を調査しながら、新しい技術の探索・検討を行います。）

#### 【自己紹介文】

【大学院】 大学で学んだ細胞生物学で人や社会を幸せにする研究がしたいと考え、幹細胞を用いた再生医療分野の橋渡し研究をしている研究室に進学。2020年のOB・OGキャリアカフェに参加して現職先輩社員の方と出会い、化粧品業界の技術×感性のものづくり・コトづくりに興味を持ち、化粧品業界を志望。

【入社～現職】 研修期間を経て、製品開発の奥深さや製品開発研究の楽しさにハマリ、メイク製品研究室に所属。これまでの研究分野と全く異なる、水粉油の有機無機界面物理学などの専門分野に翻弄されながらも、製品を使用するお客さまのことを考えながら日々製品開発や技術探索に奮闘しています。

### 6. 全日本空輸株式会社（ANA）（航空） OMCオペレーションマネジメント部

#### 【学生時代の所属先】

体育専門学群（2013 卒）

#### 【卒業後の所属先】

大学卒業→株式会社 AIRDO→株式会社フジドリームエアラインズ→現職

#### 【仕事内容】

運航管理業務…自社の航空機の出発判断、飛行計画(高度、経路、燃料、代替空港など)の立案、運航乗務員との協議、運航中の航空機の支援、運航判断

### 【自己紹介文】

- ・部活動をしたい気持ちと、パイロットになりたいという思いを持ち、体育専門学群で陸上競技部に所属。
- ・パイロットになるために勉強もしつつ、学生生活を過ごす。就活を心待ちにしていた。パイロット採用試験は早くから始まっていたため、他の職種よりも早めの合否。不採用の知らせをいただき、一時呆然。
- ・気を取り直して航空会社総合職、鉄道を中心に就活を再スタート。どうにか航空業界に入る。
- ・AIRDO では客室乗務員のスケジュール作成、宿泊施設、食事、交通手段の契約、採用業務を担当。
- ・FDA では興味のある運航管理業務に従事。国家資格の取得に向けて約 4 年間業務後の時間で勉強に励む。航空法、航空力学、航空機システム、無線、気象などの知識と経験を得て国家資格を取得。
- ・資格取得後は社内審査をクリアし運航管理者として自社の航空機の運航判断を行う。
- ・ANA でも社内審査をクリアし運航管理者として自社の航空機の運航判断、業務手順や大企業特有の組織課題に取り組む。

## 7. 理想科学工業株式会社（メーカー） AS 事業開発部

### 【学生時代の所属先】

情報学群 情報メディア創生学類（2012 卒）

システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻（2014 修了）

### 【卒業後の所属先】

大学卒業→現職

### 【仕事内容】

新規事業の企画、システム開発、技術開発

### 【自己紹介文】

- ・制御工学を学ぶため他の大学から 3 年次編入した。
- ・サークルは TMDC（スキューバダイビングサークル）に所属。
- ・B4 時の研究室は河辺徹先生の制御システム研究室に所属し、レーザープリンター関連技術について研究。
- ・大学院では社会実装を重点を置いて学ぶため「高度 IT 人材育成のための実践的ソフトウェア開発専修プログラム」のコースに進学。
- ・M1 のとき Sler で長期インターンを経験。就活は当時第一志望の自動車業界に落ちたため今の会社に就職。
- ・若手時代はインクジェットプリンタ、孔版プリンタ、画像処理サーバの製品開発を担当。
- ・30 歳の時に北米販社に駐在。帰国後、製品の開発主任を担当。2022 年から新規事業部門に異動し、事業開発・運営、製品開発、技術開発を担当。

## 8. ミュージアムパーク茨城県自然博物館（教育）

教育課・主任学芸主事

### 【学生時代の所属先】

教育研究科理科教育コース（2013 修了）

### 【卒業後の所属先】

大学卒業→現職

### 【仕事内容】

茨城県高等学校教諭（理科/生物）、博物館学芸系職

### 【自己紹介文】

- 1986 年生まれ。茨城県筑西市（旧関城町）出身、県立水戸第一高校卒。
- 東京学芸大学にて教員免許状を取得し、筑波大学大学院で理科教育学を学ぶ（修士）。
- 県立古河第三高校で理科（生物）教諭を経て、2018 年 4 月から県立守谷高校に勤務。
- 茨城県の教師で初めて、全国公募の教員南極派遣プログラムで選出され、第 61 次南極地域観測隊同行者として活動し、「南極授業」を実施。
- 2023 年 4 月から茨城県自然博物館にて勤務。
- 著書：「南極せんせいー現役高校教師の挑戦ー」プレアデス出版（2024）
- 茨城大学第 3 回高大接続シンポジウム パネリスト（2019）
- 「南極せんせい写真展」開催（筑西市：2020.7/守谷市：2020.8）
- NHK 水戸「いば6」出演（2020.4.23/2020.4.28）
- 茨城新聞こども新聞「南極せんせいのメッセージ」全 5 回連載（2020）
- 南極北極ジュニアフォーラム 2020 出演
- 第 51 回 関東理科教育研究発表会茨城大会における基調講演（2022）
- 小中高や大学など各地で「南極せんせい」として講演等実施
  
- 教育学学位プログラム 次世代学校教育創成サブプログラムの広報用 VTR 出演  
<https://www.education.tsukuba.ac.jp/edu-mp/nge-sp/>
- ミュージアムパーク茨城県自然博物館 HP「スタッフ紹介」  
<https://www.nat.museum.ibk.ed.jp/aboutus/staff/5524>
- 国立極地研究所 HP「教員南極派遣プログラム」61 次隊の教員 2020.1.27  
昭和基地と LIVE 中継にて行った当館での南極授業動画等も公開中  
<https://www.nipr.ac.jp/antarctic/outreach/dispatch61/>
- プレアデス出版 HP おすすめの書籍（拙著「南極せんせいー現役高校教師の挑戦ー」）  
<http://www.pleiades-publishing.co.jp/pdf/pdf22.html>



## 9. 株式会社アクトリー（プラント）

研究開発グループ

### 【学生時代の所属先】

生命環境科学研究科 環境バイオマス共生学専攻（2021 修了）

### 【卒業後の所属先】

大学卒業→現職

### 【仕事内容】

焼却炉のシミュレーション、付着物のX線分析、エコビレッジ事業、キヌア事業、水素製造など。

### 【自己紹介文】

- ・藻類から燃料を作る研究をしたい！と思い、東北大学から筑波大学の大学院へ進学。
- ・研究室で念願の研究に携わるうちに、研究成果を社会実装する難しさを感じ、バイオ燃料の実用化は難題と痛感し、別の方法で環境に携ることができないか、と思い就職活動する。
- ・地元の石川県に焼却炉メーカーであるアクトリーがあることを知り、就職。
- ・焼却炉は“迷惑施設”と扱われているが、電気や熱などを生み出すエネルギー供給施設でもある。焼却炉を地域活性化やまちづくりに活かす「エコビレッジ構想」の実現のための仕事にも従事。

## 10. 国立障害者リハビリテーションセンター（教育・医療）

学院 言語聴覚学科 教官／病院リハビリテーション部言語聴覚士

### 【学生時代の所属先】

人間学群 心理学類（2014 卒）

### 【卒業後の所属先】

大学卒業→専門学校進学・卒業→聴覚障害児の通園施設（福祉）→現職

### 【仕事内容】

言語聴覚士として病院に勤務し、聴覚障害のあるお子さんや成人のリハビリテーションをしています。学院では、教官として言語聴覚士の養成にあたっています。

### 【自己紹介文】

- ・心理士を目指して、心理学類へ入学。
- ・アカペラサークルとボランティアサークルを掛け持ち。
- ・ボランティアサークルを通じて、心理療法から障害者の支援に関心が変わり始める。
- ・障害学生支援（聴覚障害学生のパソコン要約筆記）の有償ボランティアに参加。
- ・大学4年では卒業研究が面白く、修士に進んで研究をしてみたい気持ちと、臨床家になりたい気持ちとで揺れる。
- ・障害のある子どもの発達支援と家族支援がしたいと思い、言語聴覚士の養成校進学を選択。

- ・現在は言語聴覚士として聴覚障害のある方（赤ちゃんからご高齢の方まで）のリハビリテーションを担当。
- ・母校で聴覚障害についての授業を行い、言語聴覚士の養成も担当。
- ・研究も諦めきれず、上司の後押しもあって社会人大学院に入学し、働きながら修士を取得。赤ちゃんと保護者のコミュニケーションについて研究。

以上